

## 内科Ⅱに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 糖尿病外来における肝細胞癌発生の実態把握

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 三好 秀明 （内科Ⅱ・診療准教授）

### 【研究の目的】

日本における肝がんは、ほとんどが ウイルス性（B 型あるいは C 型）慢性肝炎を背景としていましたが、近年はウイルス肝炎患者さんの減少と、一般人口にしめる肥満者の増加を背景にして、非 B 非 C 型肝がんを発症する割合が急速に増加しています。また日本人糖尿病患者さんの死因第 1 位はがんであり、肝がんの頻度が最も高く、今後肝がんの発生は、これまでに知られた糖尿病の合併症と同様に、注意を払うべき合併症となりうる可能性があります。

この研究は、内科Ⅱ糖尿病外来に通院する患者さんにおける肝がんの実態を調査し、糖尿病患者さんにおける肝がん発症の高危険群の確立を目的としています。

### 【研究の方法】

#### ○対象となる患者さん

5 年以上当科糖尿病外来に通院歴の有る糖尿病の患者さんで、2005－2015 年に非 B 非 C 型肝がんの診断を受けた方

#### ○利用するカルテ情報

患者背景（性別、年齢、身長、体重、BMI、腹囲、ピーク時体重、採血日、糖尿病の治療内容(内服内容、インスリンの使用の有無)高血圧の有無・治療内容、高脂血症の有無・治療内容、飲酒歴)、検査項目（血球算定検査: 血小板数、臨床化学検査: アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、BUN、Cr、γGTP、ALP、T-Chol、TG、UA、凝固検査: プロトロンビン時間(%))

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を

特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科Ⅱ 担当医師 三好 秀明、曹 圭龍（ちょう きゅよん）

電話 011-706-5753 FAX 011-706-7998